



P R E S S R E L E A S E

* 本リリースは 2015 年 4 月 30 日に、英国、米国、日本をはじめ世界同時に発表したプレスリリースを翻訳したものです。

2015 年 4 月 30 日

CSR、ワイヤレスオーディオの普及を加速する サウンドバー向けリファレンス・デザインプラットフォームを発表

～CSR のエントリー、ミッドレンジ、ハイエンド各クラス向けプラットフォームにより、
最先端のサウンドバーをより短期間で開発可能に～

CSR plc (ロンドン証券取引所 略号: CSR、NASDAQ 略号: CSRE、以下「CSR」) は本日、3 タイプのワイヤレスサウンドバー開発用プラットフォームのリファレンス・デザインを発表しました。このプラットフォームは単独で機能完備され、かつ柔軟なソリューションで、AV 機器メーカーがエントリーレベル、ミッドレンジ、ハイエンドの各クラス向けサウンドバー製品を短期間で開発できるように設計されています。

調査会社 [Research and Markets](#) 社によれば、世界のサウンドバー市場は 2018 年まで年 28% のペースで拡大すると予想されています。(出典: Research and Markets 「世界のサウンドバー市場予測 (Global Soundbar Market) 2014-2018」 2014 年 2 月) CSR は、音源からスピーカに至るまでにサウンドバーアプリケーションに求められるすべての処理をカバーできるよう、高度な半導体技術と各種ソフトウェア、設定ツールなどあらゆる要素を一体化して提供することによって、家電メーカーや ODM がこの急成長する市場で最大限の収益機会を得られるよう支援します。

機能、性能、コスト面の要件に加え、省エネ基準への適合が求められるようになり、この市場に新規参入を図る企業や製品ラインナップの拡充を図る企業にとって課される開発負担はより一層重いものになっています。CSR のサウンドバープラットフォームは、こうした課題や不安に対処するため、エンドユーザーが簡単にインストールできて操作しやすく、しかもデジタル化されたモダンな住宅にフィットする外観で他製品とは明らかに差別化された Hi-Fi オーディオ製品を、きわめて短期間のうちに消費者に提供できるよう設計されています。

CSR ビジネス・グループ担当シニアバイスプレジデントであるアンソニー・マレーは、次のように述べています。「高音質のサラウンドサウンド、あるいはスマートフォンやタブレットからホームエンターテインメントシステムへのワイヤレスによる音楽ストリーミングなど、人々は、ますます多彩なオーディオの楽しみ方を求めるようになってきました。CSR が提供するリファレンス・プラットフォームには、私たちの顧客である音響機器メーカーが、こういった消費者の期待に応えられるよう、当社がこれまで長年培ってきたオーディオやワイヤレス接続に関する専門知識を

凝縮し、人々が素晴らしい音楽生活を満喫できるよう、柔軟で豊富な機能を満載した強力なサウンドバープラットフォームを用意しました」

エントリーレベルサウンドバー・プラットフォーム

[エントリーレベル向けプラットフォーム](#)の **CSR8670™**は、DSP、マイクロコントローラ、アナログとデジタルのインターフェース、ワイヤレス接続機能を1チップの SoC 上に集積することによって、システム全体の複雑さを軽減し、メーカーの部品コストを削減します。このプラットフォームは、OEM や ODM はシングルチップの 2.0 チャンネルまたは 2.1 チャンネルのサウンドバーを短期間で開発できるシンプルなソリューションです。アナログおよびデジタル入力、オーディオデコーダ、ポストプロセス、ワイヤレス・サブウーファーの他、aptX® コーデック対応を含めて Bluetooth®を介したスマートフォンやタブレット、PC、ノート PC からのオーディオストリーミングをサポートします。

このプラットフォームを 2.1 チャンネルのサウンドバーシステムとして構成する場合、プラットフォームには **CSRA65700 ROM IC** をベースとする専用のワイヤレスモジュールを組み込んだサブウーファを設計できます。サブウーファはサウンドバーに内蔵された **CSR8670** とシームレスに連携し、Bluetooth のリンクを介して抽出された低周波オーディオデータを従来に比べてさらに低遅延で送るよう設計されています。さらにサブウーファはエンクロージャからの低遅延オーディオも再生できるよう調整されており、低音を正確に再生します。従来の赤外線リモコンに代わる Bluetooth のスマートリモートユニットは音量調節や入力選択などにも使用できます。

CSR のエントリーレベルプラットフォームは 1 つのデバイスから 3 つの Bluetooth リンクをすべて同時に稼働させることのできる完全なワイヤレスソリューションを実現します。

ミッドレンジサウンドバー・プラットフォーム

ミッドレンジ市場向けに、CSR はシステムの複雑化を排し、多彩な機能の搭載が可能でありながら、開発期間やコストを抑えることのできるサウンドバープラットフォームを開発しました。このプラットフォームには豊富な機能を搭載した **MAPX7™**オーディオ SoC を採用し、様々なデコーディングやポストプロセッシングのオプションが可能で、CSR の meloD®スイートでも、あるいは Dolby や DTS を始めとする他社製のプロセスツールを使用する場合でも、本当の意味で臨場感に溢れ音楽に浸りきることができる環境を提供できます。また、MAPX7™ オーディオ SoC と Bluetooth デバイス向け **CSR8670** を搭載したプラットフォームには、多彩な入力接続オプションが用意されています。Bluetooth のオーディオストリーミングや aptX コーデック、アナログとデジタルのケーブルによるオーディオ入力に加え、2 入力 1 出力の HDMI インターフェースのオプションにも対応します。さらに **CSRA65700™ ROM IC** 内蔵のサブウーファへの Bluetooth 接続機能も搭載されています。

また、追加設定なしでサブウーファのワイヤレス出力と合わせて中央と左右のスピーカドライブを提供する 3.1 チャンネル構成にも対応し、7.1 チャンネルまで拡張された究極のオーディオ体験を提供することも可能です。

この[ミッドレンジプラットフォーム](#)は待機電力を 500mW 以下に抑えるなど、省電力性を強く意識した設計となっています。また待機モードからの起動や NFC ペアリングなど、エンドユーザの利便性を高める機能も搭載しています。

ハイエンドサウンドバー・プラットフォーム

[ハイエンドサウンドバープラットフォーム](#)は、ミッドレンジプラットフォームをベースに、ハイレゾオーディオにも対応するよう MAPX7 デバイスとピン互換性を持つ MAPX8™を採用しています。MAPX8 は広範なハイレゾオーディオデコーダーや Dolby や DTS を始めとするプロバイダのポストプロセッサにも完全対応し、オーディオにこだわりを持つ音楽愛好家に対して究極の音質と解像度、マルチチャンネルのリスニング体験を実現します。

提供時期

[エントリーレベル](#)、[ミッドレンジ](#)、[ハイエンド](#)のすべてのサウンドバープラットフォームとも提供を開始しています。また、全プラットフォームに、サンプル設計キット、回路図、部品一覧 (BOM)、PCB レイアウトファイルを含む完全な設計情報が提供されます。ツールセット一式に加えて各種設定用ファイルも提供され、メーカーは必要に応じてパフォーマンスを調整できます。詳細については、[Web サイト\(英文\)](#) をご参照ください。

製品仕様

■エントリーレベルのサウンドバー向けプラットフォーム(DK-MOZART-10195-1B (ELSB))の主な機能:

- Bluetooth
 - A2DP (SBC, mp3, AAC, aptX のオプション)
 - AVRCP
 - ワイヤレス・サブウーファー (SWAT)
- 2.1 チャンネル出力
- ベーシック・ポストプロセッシング機能
- 待機電力 500mW 以下
- アナログ入力
- USB 入力 (USB デバイス向け)
- オプティカル SPDIF 入力
- Dolby デジタルデコーディング (オプション)
- IR または Bluetooth スマートリモートコントロール

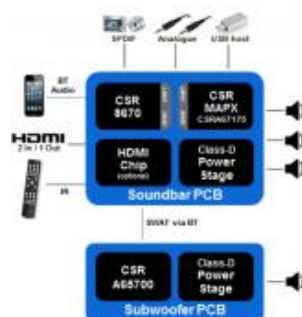


■ミッドレンジ(DK-BEETHOVEN-10194-1B (MRSB)) および

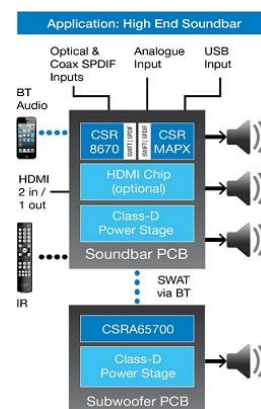
ハイエンドサウンドバープラットフォーム(DK-HDSB1.1-10228-1A - HD サウンドバー (HDSB))

の主な機能:

- Bluetooth
 - A2DP (SBC, mp3, AAC, aptX のオプション)
 - AVRCP
 - ワイヤレス・サブウーファー (SWAT)
 - NFC ペアリング
- 3.1 チャンネル出力
- 待機電力 500mW 以下
- 待機モードからのウェイクアップ



- HDMI 入出力(オプション)
- アナログおよび SPDIF 入力
- USB スティックからのオーディオ再生
- アドバンスド・ポストプロセス
- オーディオのリップシンクディレイ
- Dolby/DTS デコーディング(オプション)
- IR ラーニング搭載の IR 制御
- LCD ディスプレイまたは LED ユーザーインターフェース対応



###

* 本リリースは 2015 年4月 30 日に、英国、米国、日本をはじめ世界同時に発表したプレスリリースを翻訳したものです。原文は、
<http://www.csr.com/news/pr/2015/wireless-audio-pioneer-csr-launches-portfolio-soundbar-example-designs>
 をご参照下さい。

関連リソース (英文)

* CSR のサウンドバー向けプラットフォームの詳細(構成図、スペック、アプリケーションなど)トップページ
<http://www.csr.com/products/soundbar-platforms>

CSRについて:

CSRは、お客様が世界中の電子市場で成功をおさめるための様々な課題を解決し、変革の核となる技術を提供するため、妥協のない技術革新を進めています(push every boundary™)。ボイス&ミュージック、ドキュメント・イメージング、車載インフォテインメント、Bluetooth®Smart、屋内測位システム等の分野を中心に高性能な半導体、ソフトウェア、サービスの開発と、半導体チップへの集積を進めることで、人々のライフスタイルをより快適なものにし、途切れのないスムーズな接続とInternet of Thingsのもたらす真の恩恵を皆様にお届けします。詳細については、<http://www.csr.com/japan/> をご覧ください。また、最新の情報は、[テクニカル・ブログ](#)、[担当者ブログ](#)、[YouTube](#)、[Facebook](#)、[Twitter](#)でも発信しています。CSRの無線オーディオ・コーデックであるaptX®の詳細については、<http://www.aptx.com/ja> をご覧ください。

将来予想に関する記述

本プレスリリースには、CSRのワイヤレス・サウンドバー・プラットフォームを含むCSRの各種オーディオ・プラットフォーム並びにそれらが各種家電製品等に搭載された場合に発揮される性能、ならびにその他の将来発生しうる事象、またはそれらがCSRに及ぼす潜在的影響について、過去の事実以外の情報であって、かつ米国の1995年民事証券訴訟改革法(United States Private Securities Litigation Reform Act of 1995)において「将来予想に関する記述(forward looking statements)」との解釈が成り立ちうる声明(将来の事業または業績に関する経営陣の計画及び目標に関する所信表明、またはそれらに関する仮定を含む)を含んでいます。これらの予想に関する記述は、上記につき各々「予定である」、「提供できる」、「提供する」、「可能にする」、「強化する」、「実現する」、「設計されている」、あるいはそれらに類似した表現で特定できます。CSRの各種オーディオ・プラットフォーム並びにこれらの技術を搭載した家電製品、周辺機器等の性能、機能、または特徴の変更・向上等に際して将来発せられる一連の発表は、そのいずれもがCSRおよびその顧客の継続的評価の対象に服すものであり、実現されるか否かは不確実であり、かつCSRまたはその顧客の確約と見なすことはできず、証券購入の判断に利用するべきではありません。かかる予想に関する記述は、CSRの経営陣の

現時点での予想と見解を示すもので、CSRの事業戦略とCSRが事業を行う環境に関与する多数の仮定の上に成り立っているため、未知または既知のリスク、偶発性、不確実性、およびその他要因が複雑に関連し、その多くはCSRによる管理の及ぶ範囲を超える事項に属します。これらの要因の一部は、SECのWebサイト (<http://www.sec.gov>) で公開されているCSRの定期レポート(「Risk Factors (リスク要因)」または「Forward Looking Statements (将来予想に関する記述)」という見出しの下、またはその他の箇所) で詳述されていますが、それらに限定されません。予想に関する各記述は、その日付の時点での記述です。法に定めのある場合を除き、CSRは、ここに記載されている予想に関する記述について更新または改訂があった場合でも、公式にリリースする責任を負いません。

*Bluetooth®およびBluetoothロゴは、Bluetooth SIGが所有する商標であり、CSRにライセンスされています。

*Wi-Fi®, Wi-Fi Alliance®, WMM®, Wi-Fi Protected Access®, WPA®, WPA2®, Wi-Fi Protected Setup™ 及び Wi-Fi Multimedia™ はWi-Fi Allianceの登録商標です。

*本文書に記載されているその他の製品、サービス、名称は、該当するそれぞれの所有者の商標である場合があります。

< 報道関係お問い合わせ先 >

広報代行 株式会社プラップジャパン 谷本

電話:03-4570-3191 E-mail: csr_pr@ml.prap.co.jp

< お客様、ユーザー様お問い合わせ先 >

シーエスアール株式会社

深田 学

電話:03-6403-7100 Email: prjp@csr.com
